

いろいろな土地の暮らし

1 本時のねらい

- 日本の国土の概略とその広がりを理解する。
- いろいろな土地の暮らしについて考え、ゆかりの地について調べてみようとする意欲をもつ。

2 本時の展開

学習活動と内容	主な発問と指導上の留意点
1 本時のめあてと学習の流れを確かめる。	めあて;日本のいろいろな土地を写真で旅してみよう。 ※学習の流れをつかむ段階で、本日の語彙を解説する。
2 特色のある3つの写真を見て、どこかを予想する。	問:3つの写真は、特長ある地域の写真です。さてこの写真の場所は日本のどこにあるでしょうか。できましたか。それでは、発表してもらいます。○○さん。 説:①は、雪国新潟の写真です。冬になると信じられないほど沢山の雪がふります。 ②は、長野県、野辺山高原の写真です。八ヶ岳(2899m)という高い山の麓にあります。 ③は、沖縄県の写真です。青い空と海が自慢の南の島です。
3 日本の国土の広がりを確認する。	問:今、写真でみたように、日本の風景は、さまざまです。なぜ、このようないろいろな地域があると思いますか？○○さんは、なぜだと思いますか？ 説:そうですね、日本には3000 ㍎を越える高い山があります。そのため、低い土地と高い土地では、様子がちがってきますね。それに、日本は小さな島国と思っている人も多いと思いますが、国土の広がりを目をむけると意外と広い国なのですよ。
4 グループワークをする 課題:新潟県、長野県、沖縄県で一番有名な作物は何かを考える。	問:そこで問題です。日本の東西と南北の広がりほぼ同じです。 それでは、どれぐらいの広がりがあるのでしょうか。 ① 1000 km ② 2000 km ③ 3000 km ④ 4000 km 説:正解は、③の3000 kmです。3000 キロと言えば、アメリカ合衆国の東北メイン州から南のフロリダ州までの長さにあたります。結構広いでしょう。 指:今からグループワークをします。それぞれの土地で一番有の作物は何かを考えます。 ヒント:新潟県は、雪が多い⇒水が豊富⇒どんな作物を育てるのに適していますか。 長野県は、夏でも涼しい⇒平地では夏に育てることが難しい作物です。 沖縄県は、1年中暖かい⇒暖かい土地でしか育てることができない作物です。
5 「見えるぞ日本」を視聴する	問:答え合わせです。新潟県の主な作物は何だと思いますか。(同様に3つともきく) 説:それぞれの土地で暮らす人は、土地や気候に合った作物を選んで育てています。 ※パワポスライドを見せながら解説する。
6 今日の学習をまとめる (1)まとめをさく (2)発展課題を知る	指:今から沖縄県のビデオを見ます。沖縄県を知る「キーワード」3つをワークシートにメモしながら見ましょう。 説:沖縄県主な作物は「さとうきび」でしたね。暖かい土地でしか育たない作物です。きれいな海で海草を育てていました。何という名前だったですか。日本で食べられるモズクのほとんどは沖縄の海で育てられています。人々は、どこでも、自然を生かしながら暮らしていることがわかりますね。 説:今日の学習のまとめです。 指:今日は、沖縄のビデオをみました。皆さんの出身県はどこですか。皆さんが昔住んでいた所、お父さんやお母さんの出身県など1つでいいので「見えるぞ日本」を見て、自分にゆかりがある件について調べて下さい。 指:最後に「今日の学習で」を書いてください。これで学習を終わります。

